

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月11日

上場会社名 NITTOKU株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6145 URL <https://nittoku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 進茂
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 藤田 由実子 (TEL) 048-615-2109
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	10,270	1.8	629	14.0	760	23.7	545	△19.6
2021年3月期第2四半期	10,091	△31.9	552	△69.0	615	△67.6	677	△50.6

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 654百万円(△41.9%) 2021年3月期第2四半期 1,126百万円(0.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	30.17	—
2021年3月期第2四半期	37.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	46,978	31,504	66.6
2021年3月期	42,260	31,726	74.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 31,280百万円 2021年3月期 31,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2022年3月期	—	15.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

第2四半期末配当は11月12日の取締役会で決議される予定です。

2022年3月期(予想) 期末配当金の内訳 記念配当 10円00銭 普通配当 15円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,800	21.6	2,600	91.7	2,600	92.7	1,850	48.3	102.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期2Q	18,098,923株	2021年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	31,887株	2021年3月期	31,730株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期2Q	18,067,161株	2021年3月期2Q	18,067,524株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2021年11月29日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の世界経済情勢は、国・地域ごとに新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大、縮小がみられるものの、多くの国で事業活動などの回復にウエイトを置くようになりました。

そのような中、半導体不足、原材料不足、資源価格の上昇といった生産への影響はあるものの、積極的に設備投資を進める業界も出始めました。

当社グループの主要なマーケットである省人化・自動化設備、新規製品用設備の需要は、リスタート、あるいは新規参入などによる増加を続け、当第2四半期の受注高は第1四半期比で減少したものの、引き合い状況は活発に推移し、上半期の当社個別ベースでの受注高は、前年同期比約33%増となりました。

当社グループの海外での事業活動については、現地法人が受注・生産・納品・据え付けを担っており、顧客の活動再開とともに引き合い、受注、売上ともに増加傾向を見せ始めました。国内では、そのような動きに対し、リモートでのコミュニケーション、技術指導などの活動を継続して行っています。

当第2四半期連結累計期間の業績としては、見込んでいた海外案件及び開発要素の多い案件の売上が収益認識基準の変更の影響により下期にずれ込み、売上高は微増にとどまりましたが、国内案件を中心に比較的採算性の高い案件が当第2四半期連結累計期間に多かったことから、各利益については前回予想を上回る結果となりました。

以上の結果、当社グループにおける連結売上高は102億70百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は6億29百万円(前年同期比14.0%増)、経常利益は7億60百万円(前年同期比23.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億45百万円(前年同期比19.6%減)となりました。なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等の適用により、売上高は18億86百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4億12百万円減少しています。

このような経営環境下において当社の各セグメントの業績は次のとおりです。

(ワインディングシステム&メカトロニクス事業)

当社グループは、世界中に拠点を置くことで、日本発の技術を各地域に向けて発信し、現地ニーズに合わせ、ワンストップソリューション及びグローバルサポートの提供を実現させています。その中で2015年に設立したNITTOKU EUROPE GmbH.は短期間で成長を遂げ売上・受注ともに好調に推移しました。

これらの結果、全売上高の約93%を占めるワインディングシステム&メカトロニクス事業におきましては、連結売上高は95億73百万円(前年同期比6.0%増)、セグメント利益(営業利益)は7億98百万円(前年同期比12.4%増)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は18億86百万円減少し、営業利益は4億12百万円減少しています。

また、当社個別ベースでの受注高は100億18百万円(前年同期比30.7%増)、売上高(生産高)は67億76百万円(前年同期比5.8%減)、当第2四半期末の受注残高は198億41百万円(前年同期比86.0%増)となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

当第2四半期連結累計期間では、前期堅調だった非接触ICカードに一服感があり、売上は減少しました。また、FAタグは顧客からの引き合いも盛況で受注は増加となりました。

これらの結果、連結売上高は6億97百万円(前年同期比34.1%減)、セグメント利益(営業利益)は2億25百万円(前年同期比13.3%減)となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は8億7百万円(前年同期比64.3%増)、売上高(生産高)は6億97百万円(前年同期比34.1%減)、当第2四半期末の受注残高は3億78百万円(前年同期比31.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は前連結会計年度末対比47億49百万円増加し、324億16百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が30億86百万円減少したものの、現金及び預金が17億81百万円、仕掛品が62億93百万円増加したことにより増えます。

固定資産は前連結会計年度末対比30百万円減少し、145億61百万円となりました。これは主として、投資その他の資産のその他が1億11百万円増加したものの、建物及び構築物（純額）が1億18百万円、有形固定資産のその他（純額）が44百万円減少したことにより増えます。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比47億18百万円増加し、469億78百万円となりました。

②負債

流動負債は前連結会計年度末対比52億13百万円増加し、147億38百万円となりました。これは主として、前受金が57億77百万円増加したことにより増えます。

固定負債は前連結会計年度末対比2億73百万円減少し、7億35百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が1億17百万円減少したことにより増えます。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比49億40百万円増加し、154億74百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末対比2億21百万円減少し、315億4百万円となりました。

なお、上述の受取手形及び売掛金、仕掛品、前受金の増減額には、収益認識会計基準等の適用による影響が含まれています。

また、同適用により利益剰余金の期首残高も6億4百万円減少しています。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という。）は、前連結会計年度末対比18億94百万円増加し、120億4百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は21億62百万円（前年同期は11億83百万円の収入）となりました。これは主として、棚卸資産の増加が14億30百万円、仕入債務の減少が4億35百万円、法人税等の支払額が2億10百万円あった一方、売上債権の減少が14億54百万円、前受金の増加が13億49百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は50百万円（前年同期は2億42百万円の収入）となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入が10億96百万円あった一方、定期預金の預入による支出が9億65百万円、有形固定資産の取得による支出が1億84百万円、保険積立金の積立による支出が2億33百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億72百万円（前年同期は2億72百万円の支出）となりました。これは配当金の支払額が2億71百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、2021年10月22日に第2四半期（累計）の業績予想数値を公表いたしましたでしたが、通期業績予想については2021年5月14日の公表から修正を行っていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,898	13,680
受取手形及び売掛金	6,458	3,372
電子記録債権	1,209	1,245
仕掛品	6,135	12,429
原材料及び貯蔵品	1,230	996
その他	797	698
貸倒引当金	△63	△4
流動資産合計	27,667	32,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,015	4,897
機械装置及び運搬具（純額）	888	895
土地	2,812	2,812
その他（純額）	808	763
有形固定資産合計	9,524	9,368
無形固定資産		
その他	167	141
無形固定資産合計	167	141
投資その他の資産		
投資有価証券	3,263	3,288
退職給付に係る資産	359	375
繰延税金資産	35	33
その他	1,243	1,355
投資その他の資産合計	4,901	5,052
固定資産合計	14,592	14,561
資産合計	42,260	46,978

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,039	1,586
電子記録債務	2,693	2,725
未払法人税等	247	168
前受金	2,876	8,653
賞与引当金	383	549
その他	1,284	1,053
流動負債合計	9,524	14,738
固定負債		
繰延税金負債	403	286
退職給付に係る負債	—	9
その他	605	439
固定負債合計	1,008	735
負債合計	10,533	15,474
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884	6,884
資本剰余金	2,535	2,535
利益剰余金	19,892	19,562
自己株式	△27	△27
株主資本合計	29,286	28,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,167	1,211
為替換算調整勘定	661	780
退職給付に係る調整累計額	372	333
その他の包括利益累計額合計	2,201	2,325
非支配株主持分	238	223
純資産合計	31,726	31,504
負債純資産合計	42,260	46,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	10,091	10,270
売上原価	7,683	7,525
売上総利益	2,408	2,745
販売費及び一般管理費	1,855	2,115
営業利益	552	629
営業外収益		
固定資産売却益	3	49
その他	114	118
営業外収益合計	118	168
営業外費用		
為替差損	36	14
減価償却費	1	9
その他	17	12
営業外費用合計	55	36
経常利益	615	760
特別利益		
補助金収入	321	—
特別利益合計	321	—
税金等調整前四半期純利益	936	760
法人税、住民税及び事業税	196	121
法人税等調整額	42	103
法人税等合計	238	225
四半期純利益	697	535
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	20	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	677	545

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	697	535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	355	43
為替換算調整勘定	70	114
退職給付に係る調整額	2	△39
その他の包括利益合計	428	118
四半期包括利益	1,126	654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,104	668
非支配株主に係る四半期包括利益	21	△14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	936	760
減価償却費	325	347
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21	164
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17	9
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△72
受取利息及び受取配当金	△33	△40
為替差損益(△は益)	△30	10
有形固定資産売却損益(△は益)	△3	△49
売上債権の増減額(△は増加)	△402	1,454
棚卸資産の増減額(△は増加)	△942	△1,430
仕入債務の増減額(△は減少)	23	△435
補助金収入	△321	—
前受金の増減額(△は減少)	883	1,349
その他	185	245
小計	616	2,312
利息及び配当金の受取額	33	40
利息の支払額	△2	△3
法人税等の支払額	△19	△210
法人税等の還付額	39	—
補助金の受取額	516	23
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,183	2,162
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,229	△965
定期預金の払戻による収入	1,708	1,096
有価証券の償還による収入	200	—
有形固定資産の取得による支出	△332	△184
有形固定資産の売却による収入	14	63
無形固定資産の取得による支出	△51	△5
投資有価証券の取得による支出	△195	△109
投資有価証券の売却及び償還による収入	105	174
保険積立金の積立による支出	△115	△233
保険積立金の払戻による収入	138	113
その他	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	242	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△271	△271
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△272	△272
現金及び現金同等物に係る換算差額	51	55
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,204	1,894
現金及び現金同等物の期首残高	8,466	10,110
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,670	12,004

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第2四半期連結累計期間
(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしています。これにより、従来、製品輸出取引については工場出荷前に品質が顧客の要求を満たしているかどうかの確認が行われた上で船積みが行われ、船積み日基準により収益を認識していましたが、検収時に収益を認識することとしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従い、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,886百万円減少し、売上原価は1,442百万円減少し、販売費及び一般管理費は30百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ412百万円減少しています。また、利益剰余金の当期首残高は604百万円減少しています。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしています。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,034	1,057	10,091
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,034	1,057	10,091
セグメント利益	710	260	970

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	970
全社費用(注)	△417
四半期連結損益計算書の営業利益	552

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワイディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,573	697	10,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,573	697	10,270
セグメント利益	798	225	1,023

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,023
全社費用(注)	△394
四半期連結損益計算書の営業利益	629

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に変更しています。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「ワイディングシステム&メカトロニクス事業」の売上高は1,886百万円減少し、セグメント利益は412百万円減少しています。